

〈相談支援部会：平成 24 年度事業計画の評価〉

1. 相談支援センターの患者・家族満足度調査実施する。

実績：調査概要について再検討し、予備調査・本調査を行う計画へ修正となった。現在は予備調査にあたる患者・家族の認知度調査シートを作成中であり、3月までに実施予定である。

評価： 5 点

次年度：認知度調査を基に調査用紙の見直しや改良を行い、満足度調査（本調査）用のシート作成および調査を実施する。満足度調査は次年度以降も継続的に行い相談支援センターの質的評価や広報活動の強化につなげていく

2. 「地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック 第2版」を患者および家族、医療機関、福祉保健所、市町村などに配布し、「患者必携」の啓発を図る。

実績：沖縄県と共同でがん診療を専門に行っている医療機関、福祉保健所、市町村などに配布を行った。配布施設リストについては、別紙参照。普及啓発部会とも連携し、ラジオ番組での広報も実施した。

評価： 10 点

次年度：第3版の発行に伴い終了。

3. 患者必携 「地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック 第3版」を作成する

実績：10月より、当部会が中心となり、患者必携「地域の療養情報おきなわがんサポートハンドブック 第3版」作成に向けた作業部会を立ち上げた。計4回の作業部会を実施（12月現在までで計2回実施している）。完成は、3月1日を予定している。

評価： 8 点

次年度：第2版に習い、関係機関への配布と普及活動を行う。また「患者必携 おきなわがんサポートハンドブック第3版」評価アンケートを実施する。

4. 「患者さんのチェックリスト」について医療者向けパンフレットを作成する（追加事業）

実績：医師と患者とのコミュニケーションの促進を図ることを目的に、「周知用チェックリスト（下敷タイプ）」を作成し、県内のがん診療に携わる医師の所属する68医療機関へ配布した。配布施設リストについては、別紙参照。

評価： 10 点

次年度：パンフレットの作成・配布後の評価を行う。

5. 相談支援センターの案内チラシを各自治体や専門施設配布し、普及・啓発を図る。

実績：がん専門施設及び標準治療施設108施設へ配布を行った。

評価： 10 点

次年度：相談者が気軽に相談できるよう、相談支援センターの周知のために患者・家族に加えて一般市民へもチラシ配布を行う。また、チラシ配布以外の普及啓発活動の実施も検討する。

6. 沖縄県医療機能調査のうち、がんの診療・在宅医療への取り組み・緩和ケアに関する結果を公開するよう沖縄県へ要望する

実績：現在、要望書を協議会へ提案中である。承認されしだい沖縄県へ要望書を提出予定。

評価： 8 点

次年度：情報公開ののち、沖縄県がん診療連携協議会ホームページへも掲載する。

7. がん診療を行っている病院の医師対象に行った「セカンドオピニオンアンケート」の分析

実績：分析と調査報告書のまとめが終了し、2012年10月に協力医療機関へ報告書の配布および協議会ホームページにて公開した。

評価：10点

次年度：終了。

8. 相談内容の分析を行う

実績：10月に作業部会を1回開催し、現在使用している相談シートの集計項目の見直しを行った。

さらに3拠点病院の相談支援センターにおける共通のデータ分析ができるような集計シートを作成中であり、今年度中に改定予定。

評価：5点

次年度：3拠点病院間の相談シートと集計シートを共通化して運用を開始し、相談内容の集計と分析を行う。

9. がん相談員を対象とした研修会の企画・運営を行う

実績：各拠点病院で1回ずつの持ち回りとし、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会等の共催で研修会を2回開催した。

①那覇市立病院主催 平成24年10月5日（金）

がん相談支援員実務者研修会「チーム医療に貢献するリエゾン精神医学」

②琉球大学医学部附属病院主催 平成24年11月21日（水）

がん相談支援員実務者研修会「がん患者の休業補償」

評価：8点

次年度：引き続き、継続して研修会を行う。

10. 沖縄県がん相談支援センター相談マニュアルを作成する

実績：部会にて小児がんに関する相談マニュアルを作成する方向となり、たたき台を検討中。

評価：3点

次年度：作業部会を開催しマニュアル作成し、拠点病院で試験的にマニュアルの導入を開始する。

11. 各支援病院等の常勤相談員の配置または増員について県に要望書を作成する。

評価：現在、要望書を協議会へ提案中である。承認されしだい沖縄県へ要望書を提出予定。

実績：8点

次年度：引き続き、相談支援センターに関する人的整備について沖縄県へ働きかける。

平成 24 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 24 年 10 月 18 日（木） 15：00～17：00
場 所： 琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター
出席者： 6 名 望月祥子（ハートライフ病院）、吉本多佳子（沖縄県立中部病院）、
樋口美智子（那覇市立病院）、下地幸子（県立宮古病院）、
増田昌人、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、
欠席者： 5 名 上原弘美（沖縄県地域統括相談支援センター）
宮良久美江（沖縄県立八重山病院）、石郷岡美穂（琉球大学医学部附属病院）、
永吉美幸（県立南部医療センター・こども医療センター）
志茂淳子（ことぶき指定居宅介護支援事業所）
陪席者： 2 名 与那覇 睦美（沖縄県立宮古病院）、井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 24 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（7～9 月）
資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、7～9 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」の報告書について、確認が行われた。吉本委員より会の振り返りが必要であることや、樋口部会長より宮古病院・八重山病院についても、今後、報告などご検討いただきたいとの意見が出された。
2. がん相談件数（7～9 月）
資料 3-1, 3-2, 3-3, 3-4 に基づき、樋口部会長より、各拠点病院のがん相談件数（4～6 月）について報告があった。宮古病院・八重山病院については、基本の相談シート（ひな型）を送るので、今後ご活用いただきたいとの提案が出された。
3. 次期沖縄県がん対策推進基本計画（協議会案）の進捗状況について
資料 4 に基づき、次期沖縄県がん対策推進基本計画に対する協議会（案）について承認された。
 - (1)がんに関する相談支援と情報提供
 - (2)がん患者の就労を含めた社会的な問題
4. 琉大主催「がん相談支援員実務者研修会」について
資料 5 に基づき、事務局より、11 月 21 日、琉大附属病院の主催で大城社会保険労務士を講師として「がん患者の休業補償」のテーマでがん相談支援員実務者研修会を予定していることが報告された。
5. その他
 - (1)相談件数のまとめ方についての質問
吉本委員より、那覇市立病院の相談件数のまとめ方について質問があった。樋

口部会長より、共通シートを各病院で利用している状況であるが、那覇市立病院では、アクセスを（というソフト）を使ったシステムで入力運用しているとの回答があった。

【協議事項】

1. 「患者さんのチェックリスト」に対する医療者への周知用パンフレットの最終確認について
資料 6 に基づき、最終案に文言の修正のみがなされ、ほぼ最終案で承認された。修正後、印刷したのち発注し、納品後、県内の病院 98 箇所＋乳がんの 3 クリニック=101 箇所に、11 月下旬をめどに発送することになった。
2. 地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」第 3 版について
資料 7 に基づき、事務局より、10/25 のWGにて各コンテンツの修正割り当てを行い、修正の担当者を決めて、改定作業を進めることが報告された。樋口部会長より、「ツメ」の必要ないところは印字しないこと、病院や患者会などの連絡先を修正すること、就労支援（ハローワークなど）や小児がんについて追加することが提案された。また、配布の現状把握の一環として、宮古病院に、琉大で配布しているアンケート用紙を送ることになった。望月委員より、急性期病院（拠点病院以外）のがんサポートハンドブック配布状況の調査報告があり、各拠点病院も配布や周知の徹底、その他の病院も配布や周知に努めてもらうよう啓発するとの協議がなされた。
3. セカンドオピニオン・アンケート報告書について
資料 8 に基づき、アンケート結果を報告書にまとめたことが報告された。アンケートに協力頂いた病院に調査報告書を発送することが承認された。また、協議会のホームページにアップする予定であることも報告された。
4. 相談員実務者（研修修了者）対象アンケート実施について
資料 9 に基づき、樋口部会長より、県内の相談員の研修修了状況を把握し、今後の相談員の研修企画に活かす目的で実施したことが報告された。事務局より 75 病院に送付済みで、10/18 現在約 1/3 の 21 病院からの回答を得ているとの中間報告があった。未提出の病院については、部会メンバーで割り振って各病院に電話連絡をして、回答を再度お願いすることになった。
5. 「がん診療拠点病院のがん相談内容の分析」について
資料 10 に基づき、各拠点病院でのシートの様式の違い、紙・電子カルテ・他のシステムを使用したかの違いなどが話し合わせ、相談相手・がん種・傾聴・院内院外・役に立ったかなどの既にある項目でまとめていくことがよいとの協議がなされ、本日の部会の後、WGで詳細の検討を行うことになった。

6. 沖縄県がん診療連携拠点病院 がん相談室認知度調査について

資料 11 に基づき、認知度調査は、外来・入院中・化学療法室・患者会などのがん患者さんやそのご家族を対象に、クリニックを除く 22 専門病院+緩和ケア病棟保有病院で 50~100 名程度の調査を行うなど、対象範囲について検討された。今後も、メーリングリスト等で継続的に検討していく。調査期間は、実施要項・アンケート調査表が決定してから設定し、実施要項をアンケート調査表とともに配布すること方向で話合われた。

樋口部会長より、満足度の部分については、沖縄大学の富樫先生にアンケート調査用紙を見ていただき、設問などについてのご意見を伺うとのことのお話があった。

7. その他

(1) 全県参加の相談支援部会（国立がんセンターにて、11 月 27 日開催）の事前アンケートについて、事務局より部会員のご意見を伺った。拠点病院の MSW の正規雇用や一定期間の配属、研修受講の環境整備、相談件数を増やすこと、患者をサポートできる専門技術の導入などの意見があった。

8. 次回、相談支援部会開催日について

次回の相談支援部会開催日程については、以下の第1, 第2 候補日を目途に調整することが承認された。

第 1 候補日： 平成 25 年 2 月 21 日（木）

第 2 候補日： 平成 25 年 2 月 28 日（木）

場 所： 15：00～ 琉大病院 3階 がんセンター